

林市長 年頭の訓示（平成 30 年 1 月 4 日）

あけましておめでとうございます。今年も 1 年またよろしく申し上げます。昨年にも増して元気いっぱいやっていきたいと思ひます。どうぞ、また力を貸していただきたいと思ひます。

年末の訓示でも申し上げた通り、1 年目は色々と評価をいただくところが少しずつ芽生えてきました。2 年目は、ごみ処分場の問題に冒頭からぜひ心していただきたい。2 市 1 町で成し遂げなければならないごみ処分場の問題は、現在棚上げになっています。今年度中に場所の選定から入り、地域のみなさんに安心いただくためにきちんと対処して参りたいと思ひています。医療も道半ばです。これから取り組まなければならないことが山積しています。すぐ近くに迫っている高齢化、超高齢化の大きな山を乗り越えることが、この数年間の大きなテーマになると思ひます。その準備にあたり、気持ちを引き締めて出発をさせていただきたいと思ひています。山に例えるならば、高い山ほど一番下の辺（裾野）は長くなければいけません。大きな深い穴を掘るほどその穴の上部が一番大切で、広く掘らなければならないということでもあります。

私は、それぞれの部や課、セクションが本当に力強く機能しなければいけないとずっと考えてきました。今私に求められているものが 1 つあるとすれば、これまで“縦”（縦割り）と呼ばれていた部分を“横”（横断的）につなげていき機能させていく旗振り役だと思ひています。それを常に念頭に置きながら、これからまたみなさんと一緒に進んで参りたいと思ひています。これからの課題一つひとつが“横”の連絡を密にしなければできない、共通した認識を持ってやっていかなければならない課題ばかりだと改めて思ひています。どうかよろしくお願ひしたいと思ひています。

初夢をみなさん見たかと思ひます。私は、私が若い時に亡くなった父がでて参りました。夢の中で父は無言で私の脇に立っていました。何か言いたいんだろうと思ひまして、ずっと考えていましたが昔よく言われたことを思い出しました。言葉数の少ない父でありましたけれども、不機嫌を嫌い「不機嫌は幼稚である」ということをよく私に言いました。私はどうしても心の浮き沈みがある人間であり心許ないところもありますが、父の言葉を思いながら今日はここに立たせてもらいました。いつも上機嫌でいることはできませんが、不機嫌になることなく不機嫌は幼稚に他ならないということをお戒として思ひています。どうかみなさんも市民の先頭に立つ“聖職”であることを忘れずに邁進していただきたいと思ひます。

1 年間色んなことがあるかと思ひますが、市民のために大きな仕事に立ち向かっていってください。大きな期待とお願ひをさせていただいて私の年頭の挨拶とさせていただきます。また一年間、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。